

平成30年度第12回 教育委員会会議 会議録

- 1 日 時 平成30年10月30日（火） 13：15～16：13
- 2 場 所 3号館8階教育委員会室
- 3 出席者 <教育委員会>
長田教育長 山本委員 伊東委員 福田委員 今井委員
<事務局>
川田教育次長 後藤教育次長 浜本総務部長 藤原学校教育部長
荒牧教育施策推進担当部長 住谷教職員人事担当部長 大谷計画担当部長
- 4 欠席者 梶木委員
- 5 傍聴者 1名
- 6 次第
教第45号議案 神戸市立図書館条例の一部を改正する条例に関する意見決定の件
教第46号議案 教職員の人事の件
教第47号議案 校区調整（案）を神戸市校区調整審議会に諮問する件
教第48号議案 特別表彰の件
教第49号議案 神戸市教育委員会職員の職員団体の活動における職務専念義務違反に関する調査委員会設置規則の制定の件
協議事項15 「第3期 神戸市教育振興基本計画」策定に向けた取組状況について
報告事項1 「平成31年度兵庫県予算に対する提案・要望（教育委員会所管分）」について
報告事項2 決算特別委員会総括質疑及び文教子ども委員会の報告について
報告事項3 第6回及び第7回組織風土改革のための有識者会議について
報告事項4 訴訟について
報告事項5 市民の声（平成30年8月受付分）報告について
報告事項6 教職員の人事について
報告事項7 平成31年度神戸市立特別支援学校実習助手採用候補者選考試験の実施について
報告事項8 高羽小学校の教育環境改善等について
報告事項9 「第8回神戸マラソン」の開催準備状況について
報告事項10 警報発表・災害発生時に伴う各学校園における臨時休業の対応について
報告事項11 神戸市スポーツ特別賞 被表彰者決定について
- 7 会議内容

（長田教育長）

それでは、教育委員会会議を始めさせていただきます。

本日は福田委員がテレビ会議での御出席です。よろしく申し上げます。

梶木委員が、所用のため御欠席となっております。

なお、先日の神戸市会本会議において、梶木委員の再任について議会の同意を得ました。ちょうど、きょう10月30日から4期目ということで、引き続きお願いをすることになりましたので、改めて教育委員の皆様にもお伝えをさせていただきます。引き続きよろしく申し上げます。

本日は議案が5件、協議事項が1件、報告事項が11件です。このうち、教第45号議案、それから第46号、第47号、第48号、第49号議案、それから報告事項4、報告事項5、6、7、8については、非公開とさせていただきます。どうかと考えています。

教第45号議案については、教育委員会会議規則第10条第1項第3号により、長の作成する議会の議案に関する事。教第46号議案については、同項第2号により職員の人事に関する事。それから教第47号議案、第48号議案、第49号議案、協議事項15については、同項第6号により、会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じる恐れのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるもの。また、報告事項4については、同項第5号により訴訟または不服申し立てに関する事。報告事項5については、同項第6号により、会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じる恐れのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるもの。報告事項6、報告事項7については、同項第2号により、職員の人事に関する事。報告事項8については、同項第6号により、会議を公開することにより、教育行政の公正かつ適正な運営に著しい支障が生じる恐れのある事項であって、非公開とすることが適当であると認められるものに、それぞれ該当すると思われますので、非公開とさせていただきます。どうかと思いますが、いかがでしょうか。御賛同いただけますでしょうか。

(5名の賛成により非公開案件を決定)

(長田教育長)

ありがとうございます。

それでは本日は、まず報告事項の10からまいります。

報告事項10 警報発表・災害発生時に伴う各校園における臨時休業の対応について

(長田教育長)

報告事項10は警報発表・災害発生時に伴う各校園における臨時休業の対応についてです。こちらは警報の発表、あるいは災害発生時の各校園の対応についての報告となっ

ています。

この件について何か補足で説明があればお願いします。

(梶本学校教育課首席指導主事)

大阪北部地震のときに震度5弱という発表がありましたので、従来、神戸市では、震度5以上で学校へGOということで、引き取り及び集団下校を促しているのですが、5弱が5に入るのかどうかという問い合わせが数件ありましたので、3枚目の別紙2のプリントを6月27日に発出して、各校園長会でもう一度確認をしたということです。あわせて、ことしは6月から9月にかけて地震、豪雨、台風等がありまして、学校のほうが非常に対応が大変でした。大きな混乱もなく、柔軟かつ適切に対応はできていたのではないかと思います。一応こういう形で、学校のほうが非常時に対しては対応しているということで、マニュアルであるとか、授業を行うかどうかの判断についてはこのようにしていますという御報告をさせていただいたところであります。

(長田教育長)

特にその後、学校園現場のほうでの混乱はないと思いますけれども、徹底はかなりできていますか。

(梶本学校教育課首席指導主事)

そうですね。ただ、今回この件に関して、自宅待機の時刻と、それから授業があるかどうかの時刻については、全校を主事が調べたのですが、時間に多少のずれがありました。そのずれというのは校区の広さであるとか、学校の状況等で、それはいたし方ないことではあるのですが、もう一度、その時刻が適切かどうかについては検討をします。長年その時刻でやってきたからというところもあるかもしれませんが、大雨とか、今までにないような災害が起こっていますので、その時刻が適切かどうかの検討は、一度学校長に促したいと思っています。もちろん、そのままがいいということであればそのままがいいと思いますが、一度見直すいい機会かなとは思っています。

(今井委員)

直接きょうのこの内容というわけではなく、関連することとしてですが、避難所の開設についてです。本来は役所のほうでしないといけないことですよ。

(長田教育長)

役所です。

(今井委員)

先生方とか管理職の負担になっているという御意見をお聞きしているのですけれども、そのあたりは、何とか是正していけるものでしょうか。

(梶本学校教育課首席指導主事)

学校長のほうからも、そういう意見は聞いていまして、小さい学校であればもう既に泊まりの当番が3回目に回ってきているところもあるようですし、学校の状況によっては、若い先生方がたくさんいるところについては、なかなか1年目・2年目の教員だけで泊まらせるわけにはいかないということで、管理職が連続して泊まっているというところもあります。教員の場合、担任していると、次の日に授業がありますので、学校に泊まって次の日に子供たちの授業を行うというのは負担が大きいということで、管理職が無理をしている学校もあるようです。そのあたりについては、何らかの形で検討していったほしいという御意見はいただいています。

(今井委員)

そもそも、避難所の開設とか運営というのは、教職員がすることではないですね。

(梶本学校教育課首席指導主事)

役所の方が来てくださいます。

(今井委員)

でも、それが十分でなくて、駆けつけられなかったり、あるいは駆けつけても段取りがよくわかっていなくて、結局先生方にいろいろ教えてもらって一緒にやって、やっと運営ができていくというような実情があるということもお聞きしています。そこを何とか教育委員会として、役所のほうにしっかり申し入れるというか、担当になった人がちゃんと避難所運営ができるように、平時にしっかり研修しておいてほしいというのは、申し入れをして、先生の御負担にできるだけならないようにしていただきたいなと思います。

(長田教育長)

今、避難所の開設や運営の関係で、阪神・淡路大震災のころは、非常に学校園に負担をかけたということで、大分区役所のほうでしっかりやってもらうようにということになっているはずですが、いまだに現場にかなり迷惑をかけているというようなケースは、そんなに多くありますか。

(川田教育次長)

避難された方が来られたときに、どの部屋に入るかとか、体育館はこっちですとか、多目的教室はこっちですといった案内は、やっぱり教員でなければなかなかしにくいと思い

ますので、そういうお手伝いはしていると思います。その後、区役所の方が来ていただいたら、備蓄倉庫から何を取り出してとか、そういうことはしていただけるとは思います。区役所のほうも避難される方が多かつたらなかなか大変なので、手分けをしてされていると思いますけれども、区役所の方が来られるまでは、やっぱり教員のほうが責任を持って対応するということになりますので、そういうところがあったのではないかなと思います。

(梶本学校教育課首席指導主事)

従来、そういう形での意見交換というか、御意見をお伝えさせていただいて、区役所のほうも大分、その辺は改善をさせていただいているところではあると思います。ただ、ことしのような大雨の状況であるとか、どなたが行かれるかによって、やっぱり避難所の開設が遅れたりということが実際にはあったようです。いろいろ対応はさせていただいていると思います。

(長田教育長)

ケース・バイ・ケースなのかもしれませんが、開設がおくれて手をとられるとか、ルールどおりにっていないようなことがあるときには、ぜひ事務局で、学校園の声を吸い上げていただいて、区役所のほうに申し入れをするということはやっていかないといけないと思います。そこは情報収集を含めて、またよろしくお願いします。

(梶本学校教育課首席指導主事)

わかりました。

(山本委員)

多忙化の中のこともありますが、今言われるような区役所との連携も、前の年はできていても、次の年というふうに間があいてしまうと、またそこで抜けることがあるので、そのあたりもお願いしたいということと、それから今は随分と警報も精度が高くなって、ほぼ来るとなれば必ず警報が出るというようなところもあるかと思いますが、先日のような大型台風が直撃というようなところで、やっぱり全市一斉に早い指示を出していただくこと、特に今までと違うところでは、私たちが現場にいたころというのは私鉄やJRの計画運休などはない時代でしたけれども、今は早目にとまってしまいうようなことも含めると、職員の足だとか、いろんなことを含めて影響が出てくると思いますので、そのあたりも踏まえた対策もお願いしたいと思います。

(伊東委員)

土砂災害の警戒区域の避難情報といったものが発令された場合はどうされるのですか。住んでいるところ、もしくは学校がそういうエリアの場合です。そういうのは何かあるの

ですか。

(梶本学校教育課首席指導主事)

ことしも一部そういう学校がありまして、その教員は近隣の学校に移って、そちらで対応したということがありました。学校自体が避難所としては使えないので。

(伊東委員)

子供さんがそこに住んでいたら、その子供たちはどうされますか。

(浜本総務部長)

土砂災害警戒区域への発令が結構あって、それが発令されたら基本的には避難をさせていただくというような段取りになっていますので、今回、何回かそれが発令されて、実際に避難されたところですよ。

(長田教育長)

ほか、よろしいですか。

(山本委員)

今回の震度5弱で、例えば津波を想定した避難とか動きをされた学校というのは幾つかありますか。

(梶本学校教育課首席指導主事)

実際には津波の危険性というのは発生しなかったもので、津波を想定して動いた学校はなかったと思いますが、学校はその危険があるときにはどこに避難するというには、そこには書かせていただいています。津波の影響があるときは、2次避難場所に移動して、親の引き取りもそちらでお願いしているというのは、もう沿岸部の学校は周知しています。実際、今回の地震のときに、津波を想定した避難というのは聞いていません。

(長田教育長)

よろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

(長田教育長)

次は報告事項1、平成31年度兵庫県予算に対する提案・要望（教育委員会所管分）についてです。

報告事項1 「平成31年度兵庫県予算に対する提案・要望（教育委員会所管分）」について

（長田教育長）

平成31年度兵庫県予算に対する提案・要望のうち教育委員会所管分に関する報告となっております。

この件について、御質問ございませんでしょうか。

（山本委員）

先日も長田区で発砲云々を含めた事案があつて、非常に緊張も高まったかと思ひます。その後のことを聞いていても、近隣の小・中・高のグラウンドを探すような搜索みたいなことも入つて、非常に緊張も高くなり、不安も大きいかと思ひます。ぜひとも、この1番目に書いている安全・安心の確保のための県警へのパトロールの依頼というのを、さらに重ねて強くお願いしていただけたらと思ひます。あわせて、ここに書いている特別支援だったり、マラソンであったりという、本当に県のほうにしっかりと要望を出していただけたらというふうに思ひます。

（田代総務課長）

はい。

（伊東委員）

神戸マラソンというのは県に対しての要望になるのですか。

（田代総務課長）

県・市が協調してやっていきたいと思いますということで、これは知事に対する市長からの要望ということですので、その確認を毎年行っているということです。要望内容ということは、先生おっしゃるとおりです。

（長田教育長）

一緒に実行委員会をつくつたしということですね。

よろしいですか。

（「はい」の声あり）

（長田教育長）

次の報告事項2に移ります。決算特別委員会総括質疑及び文教子ども委員会の報告についてです。

報告事項2 決算特別委員会総括質疑及び文教子ども委員会の報告について

(長田教育長)

こちらは、10月12日の決算特別委員会総括質疑、それから10月23日の文教子ども委員会の報告です。この件について御質問、御意見ございましたらお願いします。

(今井委員)

スポーツ推進計画のことで、非常に厳しい意見ですね。

(長田教育長)

スポーツのところですね。

(今井委員)

神戸市スポーツ推進計画についての件で、厳しい御意見がありましたけれども、今後の修正のことで、どのようにしていくかわかっていることがあればお願いします。

(田代総務課長)

この場でどういう議論があったかということですか。

(今井委員)

そうですね。あと、今後に向けてというところですか。

(田代総務課長)

今後に向けてですか。

(今井委員)

はい。

(田代総務課長)

まず、この場の議論でポイントになったのは、施設計画、施設の整備とか、あるいは施設の利用率がかなり高いというのをどうするかという視点が欠けているのではないかとというのが結構論点になっていました。確かにそういうファシリティの関係、施設の整備計画については、全くこの中に触れられていませんので、ちょっとそのあたりは一度持ち帰っ

て、一旦パブリックコメントをかける形になっていますので、かけてから、また盛り込むかどうかも含めて検討するというようなことになっています。

また、そのパブリックコメントを現在行っているところで、期間が1カ月ほどありますけれども、市民からの意見を聞いて、それでまた改めてこの文教こども委員会でその意見を踏まえた形で、変えるべきところは変えるというようなことで、計画をもう一度委員会にかけるというようなことに、今は段取りとしてはなっています。

ですので、中身的にはかなり納得がいていないというような意見が多くありました。

(今井委員)

それは、案をお渡しできたのもかなり直前だったということもありますか。

(田代総務課長)

そうです。それが非常に直前過ぎて、全然、議会の意見が盛り込まれないじゃないかというようなことをかなりおっしゃられました。そのあたりはこちらとしても非常に反省すべき点ということで、実際に計画の内容を議員さんに説明したのも直前という形になってしまいましたので、そのあたりはかなりおしかりといたしますか、注意を受けたところです。ですので、もう一度改めて委員会にかけるというようなことにしていて、また、それ以降の予定についても、決め打ちせず、納得いくまで計画の立案をしていこうということに今はなっています。

(長田教育長)

いずれにしても、きょうはスポーツ体育部はここにいないですね。

(田代総務課長)

そうですね。

(長田教育長)

はっきり言って、仕事の進め方が雑なんです。急にこういうものをぱっと出してしています。この教育委員会会議でも、もう少し事前に、途中段階でもこういうことでやっぺいこうと思っていますみたいな報告でもあれば別ですけども、今回の市会文教こども委員会も同じことです。余りにも突然出てきているということで、もちろん委員さんのほうも理解が深まっていない中で、こういうのを先に市民意見募集するのはいかがなものか、しかも、これまでにいろいろな意見が出ているはずなのに、それが反映できていないじゃないかというようなことも含めて、いろいろ御意見がありました。ごもったもな事だと思ひます。

そういう意味で、内容についてもスケジュールについても再考をしてからということ

ですよね。

(田代総務課長)

はい。そのような形になっています。

(福田委員)

多忙化対策のところも質問が少し出ていますよね。

(長田教育長)

はい。

(福田委員)

例えば、業務改善検討委員会が何回か開催されているという答弁をされていますけれども、教育委員会会議でも多忙化対策についてはかなりいろんな意見が出て、それにどうやって具体的に対応していこうかというふうな話になってきていると思います。きょうも、新聞等のニュースで教職員の精神的な疾患が非常に問題だというニュースも出ています。我々教育委員会でも、かなりその辺の所は懸念していたことなので、一度どういうふうな状況になっているのかの話をさせていただいて、また議論する場をつくっていただきたいというふうに思っています。

これは、物すごく急いでできるところと、手を打たなければならないところと、中長期的な観点から具体的に対策をとっていくといったところが必要だと思いますので、絶えず継続して、やはりこつこつと議論していくべきであって、解決すべきだというふうに思っていますが、その辺のところはどういうふうに考えておられますか。

(浜本総務部長)

私の議会での答弁だと思います。業務改善委員会の御指摘がありましたので、こういうふうにお答えさせていただいていますけれども、以前に御報告させていただいているとおり、計画の策定に向けて手続を進めていますけれども、有識者会議の中で、不祥事であるとか、組織風土のところでも議論が出てくるということも聞いていましたので、ちょっとそのあたりを見させていただきながら、並行して進めていきたいというふうに思っています。できればプラン自体は年内ぐらいには何とかしたいと考えています。有識者会議の状況にもよりますけれども、やりたいと思っています。その場合には、業務改善委員会を当然ながらやっていかないとけないと思っています。市会の指摘もありましたので、11月後半、12月頭ぐらいには、当然ながらさせていただきたいと思っています。

それに当たって、今どういう状況であるかということは御報告をさせていただきたいと思います。また、それに限らず、多忙化対策がこういった状況だと、あるいは直近の状況

についても、逐一また報告もさせていただきたいと思います。

ちょっと遅いとおしかりを受けるかもしれませんが、これからスピードアップしていきたいというふうに思います。

(福田委員)

よろしくをお願いします。

(長田教育長)

ほか、いかがでしょうか。

(伊東委員)

スポーツ推進計画は、もう一度やるということですか。

(長田教育長)

多分、審議会そのものも、あと一回だけ開催するというスケジュールになっていたと思いますが、その辺ももう一度検討をしてもらおうということになっています。もちろんさっきの施設面のことを含めて内容の検討を行ってもらいます。

(伊東委員)

これ、市民に対して意見を募集していますよね。

(長田教育長)

今、やっています。

(伊東委員)

やっているものは継続してやるのですか。

(田代総務課長)

はい、今現在やっています。

(長田教育長)

それはもう広報紙にも載せていますし、24日からですかね。

(田代総務課長)

はい、そうです。

(長田教育長)

それはそれで実施します。約1カ月やった後で、その意見も含めて、もう一度内容を検討しますので、この教育委員会会議の場にも出します。

(田代総務課長)

そうですね、もう一度お諮りします。

(長田教育長)

もう一回どころか、多分2回ぐらい出してもらわないといけないかなと思いますね。

(伊東委員)

11月22日まで意見を求めて、その後、何か出されるということですか。

(長田教育長)

はい。

(伊東委員)

ありがとうございます。

(長田教育長)

ほか、よろしいですか。

(「はい」の声あり)

(長田教育長)

それでは次にまいりまして報告事項3です。第6回及び第7回組織風土改革のための有識者会議についてです。

報告事項3 第6回及び第7回組織風土改革のための有識者会議について

(長田教育長)

こちらは、10月15日に第6回が開催され、また10月26日には第7回が開催されました。その報告となっています。

引き続き、不祥事の根絶に向けた再発防止策についての議論をしていただいています。この件について、御質問、御意見ございましたらお願いします。

(山本委員)

有識者会議の先生方の熱心な討議、取り組みに一言感謝を申し上げたいと思います。あわせて、これからも会議は続いていきますけれども、今後も現場の先生方の意見を幅広く、また積極的に取り入れていただくのは十分大切なことかなというふうに思います。よりよい神戸の教育のためには、教育委員会事務局と学校現場の連携というのは欠かせないと思いますので、今後ともその姿勢でよろしくお願ひしたいと思います。

(長田教育長)

あとまだ、二、三回か、三、四回ぐらいですかね。有識者会議の座長をはじめ委員の先生方の御意見もあろうかと思ひますけれども。

(吉田組織改革担当課長)

当初は11月中をめどにとおっしゃっていたのですが、有識者会議の先生方からは、11月中にとらわれずやりたいということで、じっくり議論していきたいという話がありましたので、11月中に2回やる予定ですが、それ以降についても、今、日程調整をしようとしているところです。

(今井委員)

本当に、すごく多角的な見地から御意見をいただいでいて、多分、これからの取りまとめとか、固めていくのが本当に大変な作業だなというふうに感じていますので、先生方には引き続きよろしくお願ひしたいと思ひます。

(吉田組織改革担当課長)

第7回に、委員の皆さんから、不祥事に関するレポートを出していただきましたので、第8回に向けてそれを取りまとめて、それをもとに今後また議論をしていくという方向性です。

(長田教育長)

論点整理的な形ですね。

(吉田組織改革担当課長)

はい、そうです。

それとあと一点、過去の不祥事の個々の案件について、今後、教職員課とも協力をして、各委員の先生方に個々の不祥事の詳しい情報をお伝えして、それも含めて分析をいただくというふうに思っています。そういう意味でも時間をいただく形になるかなと思ひます。

(長田教育長)

福田先生よろしいでしょうか。

(福田委員)

御苦勞をおかけしますけれども、よろしくお願ひしたいと思ひます。

(長田教育長)

月2回くらいのペースでやってきていますから、本当にハードなスケジュールになっていますけれども、事務局のほうは座長なり委員さんのほうから、いろいろ御意見や指摘が出てくると思ひますので、それに忠実に、資料のほうもぜひ提出をまめにさせていただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

ほか、よろしいですか。

(「はい」の声あり)

(長田教育長)

それでは次にまいります。報告事項9、第8回神戸マラソンの開催準備状況についてです。

報告事項9 「第8回神戸マラソン」の開催準備状況について

(長田教育長)

11月18日に開催される神戸マラソンの準備状況についての報告です。御意見、御質問ございましたらお願ひします。

前回の報告以降で言うと、招待選手が決まったとかそういうことですか。

(川中市民マラソン担当部長)

そうですね。招待選手については、ラベル突破資格者がそこに記載しているように、男性が6カ国10人、女性が7カ国8人ですが、全体でいうと招待選手が男性21名、女性17名ということで、昨年度より5割増しぐらいでふえているような状況です。今回、ブロンズを取得しましたので、その効果も含めて、招待選手に参加いただいている状況です。

あとは、9月14日に消防、警察等も含めた関係機関と連携した心肺停止事案と、大地震が発生した場合の訓練を神戸学院大学のほうでさせていただいて、関係機関との連絡のとり方といった辺りについて再度確認をして、緊急時に連絡がとれるような体制を確認したところです。

(長田教育長)

よろしいですか。

(「はい」の声あり)

(長田教育長)

それでは、開催の準備については、ぜひ万全を期していただきたいと思います。

(川中市民マラソン担当部長)

安心できる大会を目指して取り組みます。

(長田教育長)

はい、よろしく申し上げます。

続いて、報告事項11です。神戸市スポーツ特別賞の被表彰者決定についてです。

報告事項11 神戸市スポーツ特別賞 被表彰者決定について

(長田教育長)

こちらは、2018年バクー世界柔道選手権大会で優勝された阿部一二三選手、阿部詩選手の御兄弟を神戸市スポーツ特別賞の被表彰者として決定をしたという報告です。

御質問等ございますでしょうか。

表彰日時は調整中ということで、お二人一緒にそろうべく調整しているのでしょうかけれども、やはりなかなか難しいですか。

(上田スポーツ体育課長)

詩選手のほうはまだ比較的調整はできるのですが、阿部一二三選手のほうが非常に御多忙なので、両名一緒にというのが今はなかなか難航しているような状況です。

(長田教育長)

この件はよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

(長田教育長)

はい、ありがとうございました。

その他報告事項 主要行事の報告と予定

(長田教育長)

それでは、その他報告事項として、主要行事の報告と予定をお配りさせていただいています。10月9日以降の主要行事、御出席いただいた委員の方々、お疲れさまでした。

それから、次回の教育委員会会議の日程は11月5日月曜日となっています。

御質問ございませんでしょうか。

(「はい」の声あり)

(長田教育長)

そのほか、教育委員の皆さん方から、この会議で取り上げるべき項目等について、御意見がありましたら、お願いをしたいと思います。いかがでしょうか。

また、後日でも結構ですので、ございましたら事務局のほうまで御連絡をお願いしたいと思います。

それでは、ここで公開案件につきましては全て終了しましたので、傍聴者の方は恐れ入りますが御退席をお願いします。

(傍聴者退席)

(長田教育長)

これより非公開案件に入ります。

まず教第48号議案、特別表彰の件についてです。説明を簡単をお願いします。

教第48号議案 特別表彰の件

(上田スポーツ体育課長)

それでは、お手元の第48号議案、神戸市立工業高等専門学校の学校団体特別表彰についての件です。

1枚おめくりいただいて、特別表彰についてですが、被表彰団体が神戸市立工業高等専門学校です。表彰の理由を(2)に書いていますけれども、全国高等専門学校体育大会——これは毎年実施している大会です。この資料には書いていませんけれども、全国高等専門学校連合会というところが、この50年間の毎年の総合得点を累積して、ポイント化をしました。ポイントは一番下をごらんいただきたいのですけれども、ある年のある大会で1位になったものは5点、2位は3点というふうに、ポイント化していった結果、先ほど

の（２）の表彰理由のところに戻っていただきたいのですが、全国高等専門学校体育大会において、神戸市立工業高等専門学校が全国１位という結果であったことに対して、今回、特別表彰を教育長より行いたいということの議案です。

お認めいただければ、表彰日時等は生徒さんの都合等もあり、明日の夕方にこちらのほうでやりたいと思っています。お渡しするのは表彰状、それから記念品の盾、50年間の先輩方のいろいろな苦労が重なってきた結果だと思えますけれども、そういうものをお渡ししようというものです。

参考ですけれども、一番下に書いているように、昭和41年から平成27年までの50年間ということです。

以上です。

（長田教育長）

御質問ございませんでしょうか。

高専は全国で何校あるんですか。

（上田スポーツ体育課長）

62校です。

（長田教育長）

62校のうち、50年間で1番だったということですね。

（上田スポーツ体育課長）

1番です。

（今井委員）

特別表彰というのは、以前には例はあるのですか。

（上田スポーツ体育課長）

先ほど、私が申し上げた一般的な表彰とはまた別に、特別にお認めいただければという表彰です。

（今井委員）

今ある枠組みではちょっと難しいということですね。

（上田スポーツ体育課長）

50年間の累計とかは今までの表彰ではない枠組みですので、今回ぜひお願いをしたいと

ということです。

(長田教育長)

よろしいでしょうか。

(5名の賛成により可決)

(上田スポーツ体育課長)

ありがとうございました。

(長田教育長)

それでは、この件は承認とさせていただきます。

続いて教第45号議案、神戸市立図書館条例の一部を改正する条例に関する意見決定の件についてです。

教第45号議案 神戸市立図書館条例の一部を改正する条例に関する意見決定の件

(長田教育長)

中身は何かというと、今ある北神分館を、今あるビルから向かいにあるエコール・リラの4階に移して、そこで北神図書館ということで整備をするという条例を上げるに当たっての教育委員会への意見聴取となります。

この議案は異議がないということで御承認いただければ、その旨を市長にお伝えしたいと思います。

御意見いかがでしょうか。よろしいですか。

(5名の賛成により可決)

(長田教育長)

ありがとうございます。

それでは、教第45号議案は承認とさせていただきます。

閉会：午後4時13分